健やかな未来へLOVE BLUEの想いを伝えていくために

一般社団法人 日本釣用品工業会 会長 島野 容三

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は（一社）日本釣用品工業会（日釣工）の活動に、多大なるご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、平成30年が明けました。「国の内外にも天地にも平和が成るように」という願いが込められたこの年号も、いよいよ残すところわずかとなってまいりました。実際の世は果たして、わが国を含め世界情勢は過去にない緊張状態が続き、自然災害そして人災も併せ、世界各地で天変地異に寄まれるニュースが報告されています。

また、その真価が問われる米国の変革や、ブレグジットの行方が注目される欧州経済、中国が推進する「一帯一路」構想など世界的なうねりの中で、わが国としても相当の覚悟と知恵が求められることは間違いありません。昨年といえば、そうした情勢の中で国内では内輪もめばかりが繰り広げられたという印象が否めず、本年はぜひとも新しい年号に向けて前向きな突破口が開かれる一年にしていきたいものです。

私ども日釣工の活動も、平成4年の設立から早四半世紀の歳月を数えることとなりました。

「釣用品工業の進歩発展…」という当初の目的はもとより、釣り環境の整備及び社会的貢献についても重要な責務とし、『つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業』の展開も、さまざまな場面で有形無形の成果をあげております。

平成24年からは「清掃」「放流」「釣り場拡大」を3つの優先事業として活動してきましたが、現在では賛同いただく企業も250社・団体を数え、全国各地域の皆さまとの連携・ご協力のもと、地道な活動が着実に根付いてまいりました。また、鹿児島県山川町からの感謝状を初めとして、各地の漁業者・関係団体から続々と感謝の声を頂戴しております。

公式にご招待を受けるなど、地球環境基金との協働により水辺の環境保全活動を行う諸団体を支援する「LOVE BLUE助成」も、清掃活動や水辺の生態観察、里海文化の保全と継承など、全国各地さまざまな形で実を結んでいます。

こうした「LOVE BLUE」の想いを具現化する活動とともに、全商品に添付をお願いしております「環境・美化マーク」につきましても、釣具店さまには引き続きご協力を賜りお力添えいただけますよう、改めてお願い申し上げます。

さて、本年も1月19日（金）～21日（日）の3日間、みなとみらい・パシフィコ横浜にて『ジャパンフィッシングショー2018』を開催いたします。昨年に引き続き「LIVEディープな魅力、ライブな感動。」をキャッチフレーズに、一年でもっとも早く釣りの面白さ、楽しさをお届けする舞台として、最先端の日本の技術が生む新製品の数々と釣り文化を発信してまいります。一般公開時間の延長や釣種エリアの充実、オリジナルグッズの販売など、ご来場の皆さまにもさらに満足いただける企画が目白押しです。釣具店さまにおかれましても、こうした趣旨をご理解のうえ広くお知らせいただくことで、お店の活性化にお役立ていただければと存じます。また今回、初日のオープニングセレモニー後に、臨海パークにて「LOVE BLUE事業放流式典」を実施いたしますので、ぜひご参加いただけますよう併せてご案内申し上げます。

日釣工は今年も、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、環境に配慮した道具づくりをはじめとして、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組んでまいります。

本年も変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。